

## BIOPAC Systems 社製 脳波用アンプ (EEG100C) の電極接続方法

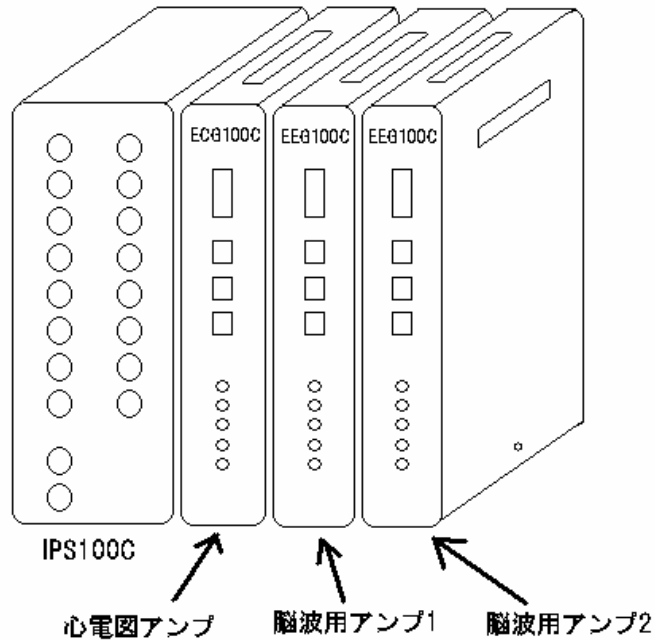


図 1. システム構成図

### 1. 脳波キャップ単極誘導

- 1.1 ジャンパー線 (JUMP100C) を、脳波用アンプ 1 の「VIN-」と脳波用アンプ 2 の「VIN-」に接続する。
- 1.2 グランド用の電極 (青もしくは白) を被験者の耳朶に取り付け、脳波用アンプ 1 もしくは脳波用アンプ 2 の GND に接続する。
- 1.3 基準電極 (白もしくは青) を被験者の耳朶に取り付け、ジャンパー線に接続する。
- 1.4 脳波用キャップを被験者に取り付け、測定部位からのリード線 (脳波キャップと同梱のマニュアルを参照) を、脳波用アンプ 1 及び脳波用アンプ 2 の各「VIN+」に接続する。

### 2. 皿電極単極誘導

- 2.1 ジャンパー線 (JUMP100C) を、脳波用アンプ 1 の「VIN-」と脳波用アンプ 2 の「VIN-」に接続する。
- 2.2 グランド用の電極 (EL254) を被験者の耳朶に取り付け、脳波用アンプ 1 もしくは脳波用アンプ 2 の GND に接続する。
- 2.3 基準電極 (EL254S) を被験者の耳朶に取り付け、メインの線をジャンパー線に接続し、シールドからの線を「SHIELD」に接続する。
- 2.4 皿電極 (EL254S) を被験者の脳波測定部位に取り付け、メインの線を脳波用アンプ 1 及び脳波用アンプ 2 の各「VIN+」に接続し、シールドからの線は各アンプの「VIN+」の上隣にある「SHIELD」に接続する。

### 3. 皿電極双極誘導

- 3.1 グランド用の電極 (EL254) を被験者の耳朶に取り付け、脳波用アンプ 1 もしくは脳波用アンプ 2 の GND に接続する。
- 3.2 測定部位をはさむように皿電極 (EL254S) 2 本を被験者の頭部に取り付け、そのうち 1 本はメインの線を脳波用アンプ 1 の「VIN+」に接続し、シールドからの線は「VIN+」の上隣にある「SHIELD」に接続する。もう 1 本はメインの線を脳波用アンプ 1 の「VIN-」に接続し、シールドからの線は「VIN-」の下隣にある「SHIELD」に接続する。
- 3.3 上記 3.2 とは別の測定部位をはさむように皿電極 (EL254S) 2 本を被験者の頭部に取り付け、そのうち 1 本はメインの線を脳波用アンプ 2 の「VIN+」に接続し、シールドからの線は「VIN+」の上隣にある「SHIELD」に接続する。もう 1 本はメインの線を脳波用アンプ 2 の「VIN-」に接続し、シールドからの線は「VIN-」の下隣にある「SHIELD」に接続する。

#### \* 補足

- ・ 脳波キャップに付属する電極類と、皿電極は混在して使用しないでください。
- ・ 脳波キャップに付属する電極（脳波キャップを含）は電極取付け後、シリンジを使用してゲルを注入してください。
- ・ 皿電極を使用する場合、被験者に取り付ける前に皿電極のくぼみにゲルを注入してください。またその際にくぼみに空気が残らないよう多めにゲルを使用してください。

**株式会社モンテシステム**

〒101-0025

東京都千代田区神田佐久間町 3-17

Tel: 03-5823-0191 / Fax: 03-5823-0190

<http://www.monte.co.jp>

[info@monte.co.jp](mailto:info@monte.co.jp)